



易きに流れない

「自然の中では生きていけない生物が、一種類だけいる。」

最近読んだ本に、なんとも「ドキッ」とするような見出しがありました。

この生物、なんだと思いますか？

最初、人間のことかと思いましたが、違っていました。（少しホッとしましたが・・・）

絹糸をとる「カイコ」という虫を知っていますか？長野県の辺りでは「お蚕さん」と愛着をもって呼ばれているそうです。

この虫は5000年も前から人間に飼われていたため、野生には存在しません。人間によって、完全に家畜化されたため、巣をつくったり、餌を探したりすることも不要です。与えられた環境で産卵し、ひたすら繭（まゆ）を作り続けます。

その結果、カイコは桑の木に自力でとまることもできません。成虫になっても、翅（はね）の筋肉が退化してしまっているために、羽ばたいても飛ぶことはできません。さらに、成虫は餌を食べる口さえもありません。つまり、飼育環境以外では生きていけない生物になってしまったのでした。なんとも、残酷な気がします。



でも、これはカイコだけの話でしょうか？

私たち人間界を見渡してみると、身の回りにはレトルトやインスタント食品、自動〇〇、△△代行、××ロボット、・・・自分が努力して解決しなくても、何とかなってしまうものであふれています。決して、文明や便利さを否定するものではありませんが、このように何かに依存する生活を続けていると、どのような結果が予想されるでしょう？カイコのように、飛べなくなったり、口がなくなったりはしないかもしれませんが、でも、本来もっている考えたり、工夫したりする「創造力」や置かれている環境で、何とか解決する力は明らかに退化してしまうような気がします。

つい、楽で便利なものを選択しがちですが、よりよい進化や成長のためと思い「敢えて自分から努力や鍛錬を続けることも大切だ」とカイコからのメッセージではないでしょうか？

ガンバレ！受験生！



去る1月24日（月）道の駅「おふく」の皆さんが、3年生の受験の応援に来てくださいました。袋いっぱい詰められたおやつを一人ひとりに手渡し、「勉強の合い間にでも食べてくださいね。」と優しい言葉をいただきました。

道の駅「おふく」の皆さんは、本校での行事などにも大変なご協力をいただいております、本校の生徒たちが地域に育てられていることを実感できます。

応援をいただいた皆さんにうれしい報告ができるよう、体調管理に気を付けながら頑張っていきたいです。

みんなで一緒に体育を行いました



ご承知のように、在校生は現在 7 名です。少人数の良さもあるのですが、反面、体育のときは競技などに制約ができてしまいます。

そこで、ALT の先生が来校した際は、ご協力いただき、一緒に体育を楽しんでいます。写真を写した日は、ALT のショーン先生の他、事務主事や英語の教諭も加わって対戦相手を変わりながら卓球を行いました。同じ競技でも対戦相手が変わると、それまで以上に白熱した戦いとなり、いつも以上に歓声上がる楽しい時間となりました。



卒業アルバム

2 月 18 日（金）卒業アルバムの撮影を行いました。「光陰矢の如し」といいますが、3 年前入学してきた生徒達も、もうじき卒業です。コロナ禍で様々なことがままならない時期もありましたが、できないことを嘆くことなく、できることを精一杯頑張った生徒達です。

卒業式は 3 月 10 日（木）10 時からの予定です。残念ながら式の入場を現状では制限せざるを得ませんが、式場になくとも、生徒たちの門出を心の中でお祝いしていただければ幸いです。



↑写真は於福ふれあい図書館の様子です

3月4日(金)	ALT 来校	21日(月)	春分の日
8日(火)	公立高等学校入試	23日(水)	第 5 回学校運営協議会（公民館）
9日(水)	3 年生を送る会、卒業式準備	25日(金)	修了式
10日(木)	第 75 回卒業証書授与式	30日(水)	離任式
11日(金)	ALT 来校		